

いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけうり

令和3年4月30日(金) 第6号

(発行者 校長 大木 淳)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

<校章の由来>



外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

今までの取組を徹底しましょう

—感染者増加に伴う「いわき市感染拡大防止一斉行動」は5月16日(日)まで延長—

報道でご存じの通り、本市においても感染者が増加傾向にあり、クラスター発生が相次いでいることから、標記の一斉行動が延長されました。

これに伴い、学校における新しい生活様式の「行動基準レベル2」の期間も延長されました。

子ども達の安全を最優先に考え、現在、感染リスクの高い活動については、ほとんどを見合わせております。

特に「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っの発声」について、可能なものは避け、どうしても実施しなければならない際には一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、回数や時間を絞るなど、十分に留意いたします。

今まで継続して取り組んできた「こまめな手洗い」「マスク」「換気」を今後とも徹底して、感染防止に努めてまいります。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動(自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	感染リスクの低い活動から徐々に実施 ↑感染リスクの高い活動を停止 ↓拡大局面	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取る	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

【資料】特に感染リスクの高い学習活動

・各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」

・理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」

・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」

・図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」

・家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」

・体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

2度目の「ステイホーム」

- 自分の命は自分で守る -

明日からゴールデンウィークの連休となります。とはいえ、今般の感染症罹患防止から、人混みの場所に行かない・緊急事態宣言の発出された地域への不要不急の外出を控えるなど、昨年同様の「自分の家で過ごすこと」になりそうです。

そもそも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置は、医療体制のひっ迫など、多くの人の命に関わることを意味しています。ニュースでは、搬送先が決まらなくて、2時間程度、救急車の中で待機した、など、とても信じがたい事態が起きています。

脳神経系や心臓疾患において、1分1秒がすべてを決定してしまう際に、受け入れる病院がない…。救うことのできる命さえ、失ってしまう状況になりつつあることをしっかりと認識しなければなりません。

幸い、2人の子ども達・そのご家族、教職員とその家族すべてが、風邪症状もなく健康に生活しています。どうぞ、自分の命を自分で守るために、状況をよく考え判断し、行動に移したいものです。

リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.081μSV/h 4/30 12:15

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 女子2名 計2名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

